

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	デスマイド腫瘍に対するトラニラスト治療の有効性、安全性を検討する 多機関共同後方視野研究
	研究目的	デスマイド腫瘍の治療において、外科的切除では高率に再発が生じることや、 機能欠損につながることから、現在では保存的なアプローチが推奨されてい ます。しかし、デスマイド腫瘍は局所浸潤および局所増大傾向が強いため、病 勢を把握するために保存的なアプローチ（経過観察）をしていても、結果と して手術、放射線あるいは化学療法といった治療が介入されることも少なく ありません。当施設では、初期治療として抗ケロイド薬であるトラニラスト 内服治療を行っています。これはデスマイド腫瘍がケロイドや瘢痕組織に類 似した、線維芽細胞や豊富なコラーゲン繊維の沈着といった組織像を持つた めに選択されている治療法です。この治療法は、国内での症例報告や学会で の治療成績の報告がみられていますが、まとまった症例数での論文報告はな されていません。本研究は、デスマイド腫瘍に対する初期治療として、トラニ ラストの有効性や安全性について過去の診療記録の情報を解析して評価する ことを目的としています。
	研究対象者	2009年1月から2021年3月の間に、当センター骨軟部腫瘍外科でデスマ イドと診断、治療された患者を対象とする。
	研究期間	西暦 2022 年 01 月 24 日～西暦 2022 年 03 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用 します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター研 究責任者	根津 悠
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	骨軟部腫瘍外科
	共同研究の場合、共同研 究機関および各施設で の研究責任者	横浜市立大学附属病院 整形外科 臨床講師 竹山 昌伸